



千歳セントラルロータークラブ

Rotary International District 2510

発行 千歳セントラルロータークラブ 会長 羽生有三 / 副会長 柏田欣也 / 幹事・会報委員会委員長 須藤 丈 (会報編集責任者)
 〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4 ホテルグランテラス千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788 membership-office@ccrc.jp http://www.ccrc.jp

WELCOME

佐々木 金治郎 様 丸駒温泉(株) 代表取締役
 (千歳ロータークラブ)
 井上 京子 様 井上会員 令夫人
 入口 明 様 入口会員 令夫人

会長あいさつ 会長 羽生 有三

みなさん、こんばんは！

今日は「創立記念 in 支笏湖」と銘打ちまして丸駒温泉にお邪魔しております。

今日の例会は丸駒温泉代表佐々木金治郎氏を囲んでの親睦夜間例会となっております。また、井上令夫人、入口令夫人には、いつもクラブの例会やイベントに参加して頂きありがとうございます。



日中は 5℃という気温の中、8 名でゴルフをしてきました。5℃ぐらいでしたが、それほど寒さを感じませんでした。ここ数日の厳しい寒さに体感温度が慣れてきたようです。

今日はゲストの佐々木代表が福島県富岡町のご出身ということですが、こちらの地区では地震、福島原発の放射能、津波と三重苦が続いています。

我々クラブでも機会があれば、東北地方の方に少しでもご支援できるように努力していきたいと思っております。

また、先日ガバナー公式訪問の際に熊澤ガバナーが来られましたが、数日前にお礼の葉書が届きました。我がクラブの活動が大変活発であるとお褒めの言葉を頂きました。会員増強を大変楽しみにしています、との添え書きもありました。これから会員増強を一生懸命やっていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

今日は丸駒温泉で、皆さんと楽しいひと時を過ごしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告 幹事 須藤 丈

- 千歳ローターアクトクラブより第 6 回定例会の案内
 - 日時：11 月 24 日(木) 18:30～

例会出席状況 (2011 年 11 月 15 日)	
会員数	32 名
休会	2 名
会員出席者数	23 名
欠席者数 (内：無断欠席)	9 (0) 名
出席率 (前回例会)	83.33 (70.0) %
ゲスト・ビジター出席者数	3 名
出席者数総計	26 名

- 場所：レストランインター
- 会費：お食事 2,000 円、コーヒー 1,000 円
- 申し込み：11 月 20 日までに事務局へお知らせ下さい。
- 長沼 RC 創立 20 周年記念式典参加について
 - 11 月 20 日(日)
 - 長沼町総合保健福祉センター “りふれ”
 - 日程：
 - 11:30 ホテルアネックスにて食事(必要な方のみ)
 - 12:15 ホテルアネックス集合 バス出発
 - 13:30～ 基調講演 第 2510 地区パストガバナー 小林 博 氏
 - 15:30～ 創立 20 周年記念式典
 - 16:00～17:30 祝賀会
 - バス利用料：1,000 円(往復)当日徴収します。
- 北栄小学校スクールバンド定期演奏会のご案内
 - 日時：12 月 10 日(土) 14:00～
 - 場所：千歳市民文化センター 大ホール
 - 入場無料

本日のプログラム

移動親睦夜間例会

「創立記念 in 支笏湖 ～佐々木金治郎氏を囲んで～」

担当 親睦活動委員会 委員長 井上 英幸

卓話「故郷 福島県双葉郡の原発被災」

講師 佐々木 金次郎 様
 皆さん、お晩でございます。



本日は、千歳セントラルロータリークラブの会長はじめ、会員の皆様方、ようこそ丸駒温泉にお越し下さいまして、ありがとうございます。今日は「創立記念例会」ということで当館をご利用頂きまして、従業員一同、心より厚くお礼申し上げます。

今朝ほど、2,3 cmほど雪が積もりまして、まだ解けていないところもあるようですが急に寒くなりました。例年より、雪が降るのが遅いのですが、支笏湖観光は震災以後、非常に低迷しており、秋が長かったことが逆に良かったのではないかと思います。思いながら暮を迎えようとしています。

私は福島県の出身です。

この度の震災に伴う福島原発の事故や今の状況についてお話しさせていただきます。

昭和 35 年に福島県を離れてからもう 50 年以上経っています。最近では故郷が恋しく、福島県出身の妻と共に毎年 1 回は先祖の墓参りをすることを楽しみにしておりました。今年はそれが出来ません。仕方がない思いながらも非常に残念な気持ちです。ふと、目頭を熱くしながら故郷を思ったりします。

私の親戚や同級生に聞きますと、3 月 12 日朝 8 時過ぎに福島原発 20 km 圏内はすぐに避難しなさいという広報があり、着の身着のまま県外へ脱出したというのが現状です。私の親戚も 20 日間ほど北海道に避難していました。

私のふるさとは阿武隈山系の太平洋に面した土地で、昔我々が小さいころは何の産業もない土地でした。福島県のチベットと呼ばれていたそうです。

産業がなく、阿武隈山系に寄り添って、海は漁業に、山は農業をしながら生活していたというのが現状です。私の実家も農業をしておりました。

私が小さいころ、旧双葉町が夕張市のように財政破綻しまして、いろいろな意味で産業を呼んでこなければいけないというのは地元で常に思われていたようです。

私は昭和 35 年に北海道に渡ったのですが、それから 10 年後、昭和 45 年頃に東京電力の原発を誘致するという話が起ってこきました。

私が 10 年ぶりに故郷の福島県双葉郡富岡町に帰りましたら、青い目の外国の方が、桜並木の素晴らしい公園にたくさんいました。建物もまるでビバリーヒルズのような建物がいっぱい建っていました。

原発が出来るといのは、兄弟や同級生から聞いておりましたが、原発に携わっているゼネラルエレクトリック社の職員の方が家族を入れて 100 人程いまして、今思えば、その人たちの社宅だったというわけです。

原発が誘致され 1 号機、2～5 号機とどんどん建っていきました。地域が寒村でしたので、実家の人たちも町の同級生も原発が来ることで町が潤うとして、非常に希望に満ちた輝かしいことを語っていました。

原発が稼働し、実家の茶畑は東京電力の変電所を買収されまして、親父は「東電」とは呼ばず、「東電様」と呼んでいました。そういったふうに東電さんに敬意を称して地域ぐるみで一緒に生きてきました。

帰る度に町は変わっていきました。どんどん交付金によって公共施設が充実され、役場の職員も増えました。富岡町の人口の約 8 割は東京電力関連事業に携わっているという状況です。それは、富岡町に限らず、大熊町、双葉町、浪江町も同様です。

平成の大合併の際には、南相馬の辺りの相馬市、原町市、小高などいろいろな町村が合併して南相馬市になったのですが、双葉郡の辺りの浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町などは地域が潤ったものですから合併しないのです。北海道では泊村などもそうではないかと思えます。

双葉町だけは公共投資に非常にお金をかけたものですから、町の財政が大変だということになりました。それでも合併はせず、東電に原子力発電所を二つ作って下さいとお願いしたのです。4 号機までの発電所は大熊町にあり、5,6 号機を双葉町に作ってもらったのです。浪江町にも東北電力が海岸線に作ってもらおうと計画を立てていました。

佐藤栄佐久知事が道新で「原子力発電とは麻薬と同じだ」ということを書いていました。まさしく、そうなのだと思います。あの辺りは原子力発電のメッカでした。そのような中で 3.11 の大震災、津波から原子力建屋の水素爆発が起こり、家族、親戚も散り散りバラバラになってしまいました。遠くは北海道、山梨、会津、山形に避難しています。

今、ようやく自分たちの町の役場が、二本松、郡山にできていますので、補償の関係からその近くに戻ってきているのが現状です。しかし 20 km 圏内については今もって立ち入りできません。

東京千歳会で東京に行くのですが、これまでは必ず福島に寄るスケジュールを立てていました。しかし、もう私たちの故郷には 30 年は入れないのではないかと思います。

私の出身の双葉高校は大正 12 年開校でもう少しで 90 年になろうかという時でした。昨年 1 月には、同窓会支部

会に出席し、開校 90 年には盛大にやろうと校長先生、同窓会長と意気込んでいました。

私の高校は原発 4 号機から 3,4 キロメートルのところでありまして、多分にあそこで学業をすることはもうできないでしょう。

あの地区はどのようになるのか見通しは全く立っていません。太平洋沿岸については津波でやられていまして、復旧の見通しが立っていません。常磐線、国道 6 号線などは永遠としてこれから走れる状態にはならないのではないかと思います、余計に寂しくなる気持ちです。

同級生はこんなことを言うておりました。

「5～10 km 圏内は国が買い上げるだろう。そして、そこに放射能で汚染されたものなど全てを埋葬して、国有地にして国が管理していかなければ收拾はつかないだろう」と。丸駒温泉も自家発電ですので、いろいろな景気の動向によるオイル価格の上下の影響が非常に大きく、厳しいものがありました。私もこの事故が起きる前は、エネルギーを外国から買う国としては、原子力のエネルギーは必要なのだと思っていました。

今このようになって考えてみますと、急に全部やめるわけにはいきませんが、原子力発電は一つ一つ灰色にして何年か後にはゼロにしていくことが大事なのだと思います。

観光業は、平和産業でありましてこのような事故が起きるとお客様は観光へ敏感に反応して、北海道観光はもちろん、支笏湖観光も非常に苦しいものがありました。

みなさんのおかげで少しずつ回復し、9,10 月には昨年並の入りこみに戻ってきているのではないかと思います。

原子力というのは 120%安全だということにはならないのではないかと考えます。これから、再生エネルギーに日本は舵を切っていくことが、大切なのではないかと思います。

一度、事故が起きると大変なことになると地元の人は痛切に感じているようです。しかし、何十年と東京電力の傘下で生活しているものですから、表立って原子力は駄目だとは言わないのです。

考えてみますと、原子力は非常にクリーンなエネルギーだと言われてきましたが、目に見えない非常に恐ろしいエネルギーなのだとも私常々考えるようになってきました。

とりとめもなく、私の故郷の話をしてきましたが福島の皆さんも今、大変に苦労していることをお分かりになって頂いて、元気をつけてやって頂きたいと思えます。

これからも福島を宜しく願います。

ありがとうございました。

—— 井上英幸委員長

佐々木社長、生々しいお話をありがとうございました。テレビやマスコミ等で聞く話とはまた違った話が聞けたのではないかと思います。

今日は創立記念例会、久しぶりの宿泊例会、後程ゴルフの表彰式、なおかつ観楓会、忘年会をすべて兼ねたような例会となっています。

彦坂会長エレクトに謝辞を込め、乾杯の挨拶を頂きます。



ゲストの佐々木金次郎様(右)と例会担当委員長の井上英幸会員

乾杯のあいさつ 会長エレクト 彦坂 忠人

佐々木社長、貴重なお話を頂き、ありがとうございました。さて、今日はいろんな意味を込めて例会が催されています。まずは、福島県の皆さんに、そしてこの丸駒温泉がさらに繁栄されますことを、また我がクラブの皆さんが良い年を迎えられますように、すべてをご祈念して乾杯致します。乾杯！

親睦ゴルフ表彰

「今シーズン 総合成績」
優勝 佐々木 俊英会員
準優勝 彦坂 忠人会員
第 3 位 坂井 治会員



羽生有三会長(右)から優勝トロフィーを授与される佐々木俊英会員

—— 佐々木俊英会員

今年度 4 回のゴルフコンペがありました。パートナーに恵まれたのか(?) 足をひっぱられながらも優勝することができました。これもひとえに私の素直な生き方の賜物です。(笑) 今日には佐々木先輩、丸駒温泉を利用させて頂き、有難うございます。これからもよろしく願います。

ここで、青年会議所の話をして頂きます。

先日次年度に向けて、羽生会長、彦坂会長エレクトと共に 10 名ほどの JC の卒業生を回ってきました。皆さんに話を聞いて頂いて検討して頂けるようお願いをしました。

12 月 8 日 (火) に青年会議所の卒業式があります。その卒業式に OB の方にはぜひ出席して頂きたいと思ひます。会員増強のためにも皆様よろしくお祈いします。

11 月の誕生日

古木 克紀 会員 (昭和 22.11.2 生)



ークラブの益々の発展を祈念し、乾杯！



閉会の挨拶をする林和則会員 (2011 年 4 月入会)



ニコニコ BOX 幹事 須藤 丈

—— 佐々木金治郎様よりニコニコを頂きました。有難うございます。

古木克紀会員：おかげさまで 64 才になりました。誕生日プレゼントありがとうございました。

※その他大勢の方々からニコニコ頂きました。(^^)v

本日のニコニコ BOX 合計額	70,000 円
今年度 累計額	217,000 円



閉会のあいさつ 出席委員会 林 和則

只今、ご紹介頂きました林です。なかなか例会に参加することができないのですが、これからはなるべく参加したいと思います。二次会も用意されていますので、ここで一旦、中締めさせていただきます。皆様のご健康と千歳セントラルローター



NEWS & TOPICS

【至急】日本事務局財団室より下記のメールが届きました。各位、ご注意ください！

「ローター財団東日本震災復興基金寄付」というタイトルで、「元気になろう日本」プロジェクト事務局という差出人からメールが送付されているようです。

こちらでは、寄付方法に関する問い合わせがありました。このようなプロジェクトに関しては知らされておられません。この業者への電話は通じず、メールは戻って参りました。

こちらで内容の確認ができるまで、絶対にこの業者からの健康サプリメントの購入はしないよう、皆様にご周知下しますよう宜しくお願い申し上げます。

取り急ぎご連絡申し上げます。

国際ローター日本事務局 財団室 清水優季



バンコクにおける洪水の影響について

2012 年 5 月に予定されている RI 国際大会の開催地バンコクにおいて現在、深刻な洪水被害が続いており、国際ローターは、現地の状況を随時確認しています。地元のロータリアンと政府から情報を入手しておりますが、現時点で国際大会の計画に変更はありません。開催日が近づいてもなお、危機的な状況が続く場合は、必要な変更や決定をすべての大会登録者へ Eメールでご連絡いたします。また、RI のウェブサイトおよびソーシャル・メディアを通じても情報をお伝えいたします。

バネルジー会長が会長ノミニーを宣言

米国オクラホマ州、ノーマン・ローター・クラブのロン D. バートン氏が、指名委員会により 2013-14 年度国際ローター会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は 10 月 1 日に会長ノミニーとなります。



1979 年にロータリアンとなったバートン氏は、現在、未来の夢委員会副委員長と米国ポリオ撲滅タスクフォースのメンバーを務めています。これまでに RI 理事、ローター財団管理委員、管理委員会副委員長、国際協議会モデレーター、モデレーター補佐、グループ討論リーダー、地区ガバナーを歴任しました。このほかにも、2011 年ニューオーリンズ国際大会委員会委員長、投資諮問委員会副委員長、職業奉仕委員会連絡担当理事、恒久基金米国アドバイザー、ローター財団地域コーディネーターを務めた経験もあります。また、ウィリアム B. ボイド 2006-07 年度 RI 会

長のエイドでもありました。

SCHEDULE

☆11 月は、 ローター財団月間 です。	
11 月	20 日 長沼 RC 創立 20 周年記念式典
	22 日 通常例会「卓話 加藤健二様(株)グリーン開発 代表取締役) ～リサイクルに関する現場からの声～」 [担当/エコプロジェクト実行委員会(羽芝委員長)]
	29 日 休会(月末)
☆12 月は、 家族月間 です。	
12 月	6 日 ★通常夜間例会「クラブ協議会/年次総会(36 分例会)」[担当/須藤幹事]
	13 日 通常例会「上半期を振り返り」[担当/須藤幹事]
	20 日 ★親睦夜間例会「クリスマス家族会」 [担当/親睦活動委員会(井上委員長)、幹事]
	27 日 休会(年末)
☆1 月は、 ローター理解推進月間 です。	
1 月	3 日 年始休会
	10 日 ★親睦夜間例会「新年交礼会」 [担当/親睦活動委員会(井上委員長)、幹事]
	17 日 通常例会「クラブ協議会/上半期の会計報告」 [担当/土居会計、須藤幹事]
	24 日 ★通常夜間例会「長期計画・企画」 [担当/彦坂会長エレクト]
	31 日 月末休会
☆2 月は、 世界理解月間 です。	
2 月	7 日 ★親睦夜間例会「雪見酒 ～通算 1000 回記念～」 [担当/親睦活動委員会(井上委員長)、幹事]
	14 日 通常例会「クラブ協議会/友好クラブ締結 15 周年記念交流会について」 [担当/友好クラブ委員会(高塚委員長)、須藤幹事]
	21 日 ★通常夜間例会「未定」 [担当/国際奉仕委員会(田口委員長)]
	28 日 通常例会「国際交流会」 [担当/国際奉仕委員会(田口委員長)]
☆3 月は、 識字率向上月間 です。	
3 月	6 日 ★通常夜間例会「クラブ協議会/未定」 [担当/須藤幹事]
	13 日 通常例会「未定」 [担当/新世代・ローターアクト委員会(福田委員長)]
	18 日 RI 第 2510 地区 第 7 グループ IM (由仁)
	20 日 祝日休会
	27 日 ★移動親睦夜間例会「The BELLCLASSIC Lien」 [担当/親睦活動委員会(井上委員長)]
☆4 月は、 ローター雑誌月間 です。	
4 月	3 日 ★通常夜間例会「クラブ協議会/未定」[担当/幹事]
	10 日 通常例会「未定」[担当/雑誌委員会(羽芝委員長)]
	17 日 ★親睦夜間例会「未定」 [担当/親睦活動委員会(井上委員長)]
	24 日 通常例会「次年度方針」[担当/会長エレクト]
5 月	1 日 ★通常夜間例会「クラブ協議会/未定」 [担当/須藤幹事]
	8 日 移動例会「長泉 RC 友好クラブ締結 15 周年交流会」 [担当/友好クラブ委員会(高塚委員長)]